

伊熊 拓海 さん
(28)道南地区
新規就農者
紹介

経営概要

- ◆ 地 域 八雲町
- ◆ 飼養畜種 乳用牛（搾乳牛40頭、育成牛30頭）
飼料作物32ha（牧草、デントコーン）
- ◆ 就農年月 令和7年1月
- ◆ 前 職 酪農ヘルパー

就農Q&A — 就農のここ？ —
— 就農のここ？ —

Q 就農を考えたきっかけを教えてください。

A 大学在籍時に酪農サークルへ入会し、せたな町はじめ全道各地の酪農家の元で農作業を経験しました。サークルを通じた交流会で、道南の農業者との交流が決め手となり、道南地域で就農することを決めました。

その後、酪農ヘルパーの仕事に就こうと考え、八雲町で3年間従事し、現在の農場で1年間の研修を経て、第三者継承することとしました。

Q 就農して良かったこと、苦労したこと（していること）を教えてください。

A ●良かったこと
先代の酪農家や先輩酪農家から営農技術をはじめ様々な指導・助言をもらい、**より一層地域の人々と関係を築くことができた**ことです。

●苦労したこと（していること）

ヘルパーの仕事以外にやらなければならないことがたくさんあること。苦労というよりは、やりがいと感じています。

Q 就農時に利用した制度や支援等があれば教えてください。

- A
- ・ 青年等就農資金（国）
 - ・ 就農準備資金（国）
 - ・ 経営開始資金（国）
 - ・ 経営発展支援事業（国）
 - ・ 新規就農支援資金（八雲町）

Q 今後の展望について教えてください。

A 家族経営が基本と考えており、**家族との時間を大事**にしていきたい。

夫婦2人で営農しているため、牛のコンディションを一番に考えると、飼養頭数や耕作面積は、現在の規模がちょうど良い。

Q 最後に、就農を目指している皆様へアドバイスをお願いします。

A 当面の生活資金や営農資金に充てるため、**自己資金は必要**です。

第三者継承は、一から新規就農するよりも**初期投資が少なくて済むメリット**があります。

資金面や経営面等、**就農前にシミュレーション**しておくの良いと思います。